

學業に専念せよ

——ボート氏語る——

先に本校視察の爲來に來て始めて最も、立派な児童軍政部、民衆教育課長のボート氏は十一月二十六日川内記者團と會見、要旨左の通り、一問一答を行つた。

問、本校に來られてどう思はれましたか。
答、最初に感じたのは、感化院のやうに思へた色彩の調和と彩色がなからぬ、又授業方法は机が整然と一つの教室の方にまつて並んでいて、先生ばかり話をして生徒は皆だまつてかしまつてゐる。もつと民主的にやつて欲しい、特に良かったのは、バレー、何故ならば、各個人々々の問題であつてスポーツと愛好する

波亂の自治會



菊池自治會長辭任に伴い三年は受驗を理由として役員を辭退することになり二年生が後をうけつて事に決定し九名の推薦立候補者を立て、選挙の結果會長に池田副會長補元書記長小島と現れたが三役員は得票合計數さへも過半数無き爲その責任遂行上に支障ありとの理由で會長は信任投票を問うた所不信任とするものが信任者總數より十八票多く直ちに新役員は解散した。選挙管理委員會は不備の會則を改正した新選挙体系

の軍閥を指すのではな問、歸國中の對日感情は、又アメリカの學生は我々にどういふ希望を持つていますか。とたづねると、逆に記者に「貴方のアメリカに對する氣持は？」と問はれ「生活が保證されて全幅の信頼を寄せてゐる」「皆さへると」「日本人が、自身で建設の道を切り開いて行く覺悟があれば、信頼と援助を惜しまない。」最後に本校の今後の共學の方向について質問すると、それは君達の關與する所ではない、然し決定したことは、學校に協力的態度をとるべきである。學生の本分は學業に専念することである。」「皆強調された。」「(在實記者)

△……私が入學した途端に制服がカーキ色に變り、卒業する頃は文科の先生もサッペルを足で蹴る様な男學生の事象線をやつていた。こんな時代に中學校生活を送るは私には今の學生諸君の生活はまさにワンダフルである。二三十年の時代の開きがある事を深く知らされ、諸君がうらやましくなる。兎に角上級學校に入るために勉強された私達には一格子な夢だろが、腐れか

つた知性しか見られぬ△……文化祭を見た。女生徒はともかく私達二年生で英語を取り上げられた者には、うらやましいと思はれた。學生らしいし又人間らしい。私はうれしくなつた。△……新田神社に終戦後始めて登つた。參詣録を見た。川高一部三年徒山(どうせ變名だろ)私には失態になやむ高校生です。輕薄な戀はしないであれ、世の女と女學生と益々高尚な戀を願う。」「と云うのがあるかと思つた。」「勤勞者の血と汗を流して家を打倒せよ。日本の爲に世界平和の爲に彼ブローカーと最後迄戦う。」「こんなものもある。」「(薩摩タイムス記者)

かき餅をかみなから本を讀んだり楽しい数々それはとにかく、春は来る。新年を祝して、新しい年の幸はもろ／＼の人の上に降りかゝるこの月である。この一年間、幸多かれ川高生のために(二部一開記者)

良心的な弊店へ御用命トきい
年始は特にサービス致します

時計部!!開設
責任修理
在庫豊富

めがね部!!充實
あまたのメガネ!!
正確ですか?
貴金屬、ダイヤ
純金高價買
入致します

技術本意
御用の御方は何とぞ
太平堂
桐原製靴店へ
附屬品一式靴修理
川内大小路町

石津製藥 稻畑製藥 三共、鹽町義
製藥 第一製藥 武田製藥 藤澤製藥
丸石製藥 丸善製藥 明治製藥

一般藥品、ゴム製品
度量衡器、計量器
農具、小賣、登錄店
乳製品、小賣、登錄店

マルヨシ藥店
川内市向田町

國産ミシンの最高級品
「蛇の目」ミシン 登壇
種々御相談に應ず
帝國ミシン株式會社總代理店

龜屋百貨店ミシン部

下八尻精肉店
川内市向田町

吉末西下店主

中央委員會書記を除いた外は皆學校新聞編輯員である。中央委員會書記を除いた外は皆學校新聞編輯員である。中央委員會書記を除いた外は皆學校新聞編輯員である。



季節の話
再建に懸命な努力を奮ひしつゝ、荒果てた世の嵐にも新日本の四回目を正月を新たに希望と共に迎へた。正月の又の名を睦月とも云ひ、昔の人々は、むつまい月として一年を結ぶ月として向んだと言ふ。貧しくて正月だけは喜びのうちに迎へて自己の心を願ふ。何しろ夢の様に浮き、過ぐす月だけに話題とされるのはすこぶる多い。二部の舊ペラック、二部のガラスの無い教室、寒のきびしさも正月のなげきである。今年の冬をどうしてすごすかについて、夢に話す女學生、どうしたらいいでせ

「うね」「ストロウ装置にしようかしら」といふ空想となつて一年の計は元日にあり、とやらで夢の世界になる。それも單なる少女の空想とのみいへるであらうか?正月と聞いてすぐ連想する雑煮食べに目と白黒さしたり電線に風を取られたり、赤やんから年寄りまで新しき年を壽ぎ、幸多き事を希望するのである。七五三の祝ひ、唐から輸入された日、七草のかゆの日、ひびの入つた大きな歯固め餅を割りながら醬油でこぼしつゝあつちやうに家園樂を持つ十一日、こたつをかこみながら四方山の話の聞いたり、ランプを取つたり、

馳んで戀も澤山生れよう。思想が自由になつて、いろ／＼本も讀めよう。しかし落ちついて世の中を見る事も大事だ。どこに打倒しなればならぬ大本があるかと。

△……太平橋の下で右手に眞白い花の二三の學生と喧嘩しようとする。未だこんなのがあるかと思ふ。私達が一番いいつしなればならぬヤクザの眞似が……

△夕方男子學生と女子學生と女子學生が四人歌を唄い乍ら歸る。ちつともおかしくない。當り前の様に思はれたしかし私の學生時代を考へたら嘘のような話だ。

かき餅をかみなから本を讀んだり楽しい数々それはとにかく、春は来る。新年を祝して、新しい年の幸はもろ／＼の人の上に降りかゝるこの月である。この一年間、幸多かれ川高生のために(二部一開記者)

川内市向田町